



広報おんな

平成11年4月発行 (No.219) 恩納村 総務課 TEL(098)966-8006



村民と共に進める平成11年度 恩納村の村づくり

青と緑の豊かな活力ある村

村のひと (2月末日)		
男	4,870人	(+9)
女	4,656人	(+1)
計	9,526人	(+10)
世帯数	3,191世帯	(+4)

- ◆健康で心豊かな村づくり
- ◆平成11年度 恩納村施政方針
- ◆むらの話題 生涯学習の成果を会場で発表 他

地域振興券の交付と取扱がスタート 特定事業所行政区別登録一覧(順不同)

<p>【名嘉真】 (株)平成リゾート エンタープライズ 宜野座商店 ラーメンハウス 亀仙人 島袋商店 ペンション ウィークエンド (株)ローソン 恩納インプビーチ前店 (有)クラウンフーズ ペンション こうえん 阿波連商店 アメニティ ゆめ舎 ナコ美容室 ホットスパ インプビーチ前店 宮城ストア 平田商店 ホテル メイワ 希望ヶ丘新聞販売店 (宮城) (有)フォーリスが納 名嘉真新聞販売店 (仲田) 東鮮魚店 熱なしまあ 東商店のさきりがた 福寿し 歌を除きてい 【喜瀬武原】 喜瀬武原売店 【安富祖】 松崎商店 エッカ石油(熱田給油所) 大京カントリークラブ (株)みゆきビーチ 安富祖売店 (株)ドーモ コーポレーション 當山商店 ティダエンタープライズ チャイナシードライブイン レストラン 田仲商店 沖縄タイムス安富祖販売店 【瀬良垣】 万座ピザハウス シーフードレストラン ル・ソレイユ ホットスパ 瀬良垣ビーチ前店 屋良商店 沖縄そば 浜辺 ケニーコースト 琉球銘菓三矢本舗 城間ストア 【大田】 (株)沖縄全日空リゾート 万座ビーチホテル 割烹一平 横浜倶楽部 (株)丸井 ホットスパ 恩納万座ビーチ前店</p>	<p>東洋交通 万座営業所 花城美容室 ファミリーマート 万座ビーチ前店 【恩納】 松井薬局 恩納協同組合 (売店) 久ちゃん弁当 石川商店 (恩納) 田幸商店 やんばる農協恩納支所・ 南部出張所 万座毛おみやげ品店 (松田) 万座毛おみやげ品店 (金城) 大城商店 (恩納) 居酒屋 うんな岳 トラベルハウスM&B ボンジュール万座 恩納フォートサービス やんばる農協恩納支所 (購買) 【南恩納】 (株)森岡コーリー 地域振興券 (南恩納給油所) 中華ビュッフェ専門南恩納 沖縄蘭園 陶 酒 仲里 海ぶどう 沖縄工芸村 石川商店 (南恩納) 津嘉山商店 恩納タイヤサービス オンサ建材 京都屋クリーニング 取次店 日本AVセンター 比嘉商店 (財)労働福祉共済会 白雲荘 長嶺自動車整備工場 58号線 スマイル歯科医院 沖縄タイムス南恩納販売店 珈琲風 【谷茶】 (株)オリンピア 谷茶里ストア (株)沖縄オーラコーポレーション リザンシーパークホテル 谷茶ベイ アラモードリゾート ショッピング 那覇ショッピングセンター (スーヴェニアショップ) リザンシーパークホテル支店 (株)近畿日本ツーリスト沖縄 恩納村営業所 大阪村のチャンタンメン (有)恩納アルミ工業 【富着】 (株)日本ゴルフ振興 (沖縄)</p>	<p>サンマリーナホテル 千登世商事沖縄店 (株)日本海中観光 (株)日産レンタリース沖縄 理容 シャネル タイガー観光 ポットベリー (株)ジャパレン (株)共栄ガラス工房 沖縄国際ゴルフ倶楽部 万国百貨店 (株)沖縄ダイケン北部営業所 金城商店 ホットスパ 富着店 喜名商店 サウスTOサウス 沖縄タイムス富着販売店 民宿シーハウス ファミリー歯科 【前兼久】 沖縄ヤマト運輸(株) 沖縄タイムス・ビーチ営業所 (株)ムーンビーチ (有)恩納給油所 栄商店 リゾートコンビニエンズ (株)新城カラー 中部営業所 フラワーショップ 華絵 ムーンビーチ パレスホテル 前兼久共同売店 効期間 (株)ニッポンレンタカー沖縄25 (株)タイラ (株)カキム村 山城鮮魚精肉店 (株)ニライ、カナイ マクドナルド ムーンビーチ店 ファミリーマート ムーンビーチ前店 (株)金秀商事 (恩納マリンビューパレス) 食堂ヤマト (有)琉産産業 (ほっかほっか亭 ムーンビーチ前) 海鮮居酒屋 ちゅら海 クラカコーポレーション(株) ダイヤモンド ピザカフェマリーノ 山城さしみ ハブボックス 恩納店 ヘアスタジオ髪切屋 ワタビー商事 ヘアサロン ヤング ペンションカラオケスナック ムーンライト ブローハウ ウンナ 美容室 結</p>	<p>【仲泊】 仲泊共同店 大健薬局 仲泊海産物 シーサイド ドライブイン 味処 幸楽 海産物料理店 南栄 花姉妹 又吉文具店 きな美容室 真栄田鮮魚店 ポケットハウス 大城商店 (仲泊) 宇室商店 浜の家 ホテルサンセットビル (有)ヒルトップ (株)サンリス 沖縄タイムス仲泊販売店 海鮮料理店 島 沖縄ソバ なかどまい 【山田】 (有)シーウィーズ 近代ジムキ ゼンクイ珈琲 外間商店 比嘉精肉鮮魚店 沖縄養蜂振興 (株)エイチ・ビー・ ディコーポレーション 団 ねむらぎ 25 団 オキナワ ヤマダ給油所 仲本商店 名城商店 比嘉菓子店 山田共同売店 マリブビーチリゾート 日本電話施設(株) マリブビーチホテル 多幸山1 サン・ガレージ 居酒屋 ゆんたく亭 陶遊空間珊瑚礁 沖縄タイムス山田販売店 【真栄田】 真栄田共同売店 うちなー料理 はなとうま 沖縄タイムス (真栄田取付店) 瀬名波察 【塩屋】 塩屋 つりぐ店 (株)サンエー (ペンション美留) 塩屋共同売店 工房まるい 与久田ビーチ給油所 なかぞね商店</p>
--	--	---	--

うまんちゅする がんじゅうさび 御万人揃てい健康守ら



▲関係者によるテープカットで開会

健康で豊かな村づくりを形成していくことを目的に第十二回村福祉・健康まつりが三月七日、村コミュニティセンターで開催されました。



交流会では、介護機器や環境・リサイクル品等の展示や介護・健康の相談コーナー、栄養指導、骨密度の測定コーナーが設けられ、体験コーナーでは、日本健康運動指導士協会沖縄県支部長の浦添総合病院の長沼利幸先生とスポーツクラブの中村美加インストラクターの指導によるウォーキングによる健康づくりについて、講話とストレッチ体操が行われ、体をほぐし日頃の運動不足を解消しました。その後運動指導を受けた受講者は恩納区内の約六キロのウォーキングにも挑戦し、健康づくりを図りました。

しあわせは、心と体の健康からをスローガンに 子どもから高齢者まで



▲まつりで表彰を受けた皆さん おめでとうございます

その他、まつりでは百歳以上の高齢者を表彰する「がんじゅうでーびる賞」や八十歳で二十本以上の歯を維持している方を表彰する「8020歯の健康賞」、三歳児健診で虫歯のなかったちびっこを表彰する「虫歯なんかないで賞」の合わせて三十二名に村健康づくり推進協議会の会長仲嶺哲夫村教育長から表彰状と記念品が授与されました。



▲健康づくりは運動不足の解消から

▲健康食も会場で展示されました

しあわせは、心と体の健康から
第十二回恩納村福祉・健康まつり

地域振興券交付が3月25日にスタート



恩納村では3,142名が交付対象



地域振興券に関する問い合わせ
村総務課 〇九六六一八〇〇六
(内線 二〇三)

地域振興券の交付がはじまりました。

恩納村の地域振興券交付が三月二十五日から村コミュニティセンターではじまり、二十六日まで交付が行われました。特定事業所の取り扱いも同じく二十五日から九月二十五日までの六ヶ月間行われます。

肥料代にします」と交付を受け喜んでいました。

村立各小学校で卒業式

258名が巣立つ



▲卒業証書が授与され新しいスタート



▲在校生の演奏で 卒業生が入場

三月は卒業式の季節です。村内の小学校、中学校でも三月十七日から二十三日にかけて卒業式が行われました。

十七日に安富祖校で行われた卒業式には、小学校二十二名、中学校十三名が卒業式を迎えました。会場内には生徒会や在校生らが製作した壁画や花々が華やかに彩られ、家族や教員らが見守るなか厳粛のうちに式は進行されていきました。

式では学事報告の後、新城校長から卒業認定が行われ、小学校、中学校と卒業証書が授与され、会場内では卒業生一人ひとりの思い出のスナップが映し出されていました。

中学校を卒業する生徒らは、これまで学校で世話になった先生方と堅い握手をかわし、これまで学んできた学舎を後に新しい世界へ巣立って行きました。

平成十年度の村内小中学校の卒業式では、小学校百三十六名、中学校百二十二名の合わせて二百五十八名が卒業式を迎えました。



平成11年度の村づくり

3月定例議会で施政方針表明

一. はじめに

平成十一年第四回恩納村議会定例会の開会にあたり、平成十一年度一般会計予算案をはじめ、諸議案の説明に先立ち、平成十一年度の村政運営の基本姿勢と所信の一端を申し上げ、議員各位並びに村民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

私は去った一月二十四日の村長選挙におきまして、議員各位をはじめ村民の皆様のご理解とご協力を賜り、第二十四代恩納村長として就任し、平成十一年第二回臨時議会で村政運営に対する所信



表明を致しましたが、村政の基本を産業・福祉・教育・文化の調和の取れた村づくりにおき、村民の皆様にご理解とご協力を推進してまいり所存でございます。

今、国際社会においては、冷戦が終結した時、世界は平和の方向に向かうだろうと考えられましたが、現実の世界は地域紛争や内戦が多発し、各地で犠牲者が続出しております。このような国際情勢の中、新たな世界秩序の構築に向けて、各国間の対話と協調がますます重要となっております。わが国はアジアの一員としてアジア、太平洋諸国との信頼・協力関係を深め、同地域の平和と安定に貢献する事が求められています。

一方、国内においては、バブル崩壊の長い不況から抜け出すことができず、大手銀行の破綻、国有化、企業の倒産、失業者の増大など依然として厳しい経済環境下にあります。こうした状況から、国では経済を回復軌道に乗せるため金融システムの再生及び公共投資の拡大、恒久的な減税等の景気回復策の実施を打ち出してあります。



次に、県内の状況ですが、昨年は基地問題や長引く不況、失業問題など解決しなければならぬ多くの課題が山積する中、十一月に稲嶺新知事の誕生がありました。また、対

馬丸戦没者洋上慰霊祭にみられるように、戦後処理問題等一定の解決が図られた年でもありません。本年度も普天間飛行場の移設問題を中心に難問が山積している状況にあります。

さて、平成十一年度の村政運営の基本施策については、恩納村第三次総合計画、後期基本計画（平成九年度～十三年度）に基づき行います。そして、地方自治の確立を目指し、地域住民と一体となって住み良い、創造性豊かな「村」づくりを推進致します。

以下、具体策について申し上げます。

1. はじめに
2. 財政運営
3. 新庁舎建設事業
4. 仲泊内海整備計画
5. 基地の跡地利用
6. 教育・文化の振興
7. 経済の振興
8. 住み良い生活環境整備
9. 村民福祉
10. 国民年金
11. 健康づくり推進事業
12. 国民健康保険
13. 老人保健
14. おわりに

二. 財政運営について

国は財政構造改革法の凍結や所得・法人減税の実施を打ち出し、積極型の財政運営方針を明確にし、いわゆる十五ヶ月予算の考え方の下に、平成十一年度第三次補正予算と一体的にとらえ、当面の景気回復に向け全力を尽くすとの観点に立って編成するとともに、財政構造改革の基本的考え方は維持し、限られ

た財源の中で経費の一層の合理化・効率化・重点化を図ることと、また、財政投融資計画については、社会経済情勢の変化に即応し、景気回復に十分配慮しつつ、資金の重点的・効率的な配分を図るとの基本的方針に沿って概算要求がなされております。

一方、現下の地方財政は、地

方税・地方交付税の低迷などにより引き続き大幅な財源不足が生じると共に、地方税収等の低迷や減税による税収補填、景気対策等のための地方債の増発等による多額の借入金残高を抱え、その償還が将来の大きな負担となるなど極めて厳しい状況になるため、歳出の抑制や行政の簡素効率化等が強く求められております。

また、地方分権の進展に伴い、地方公共団体は、地域における

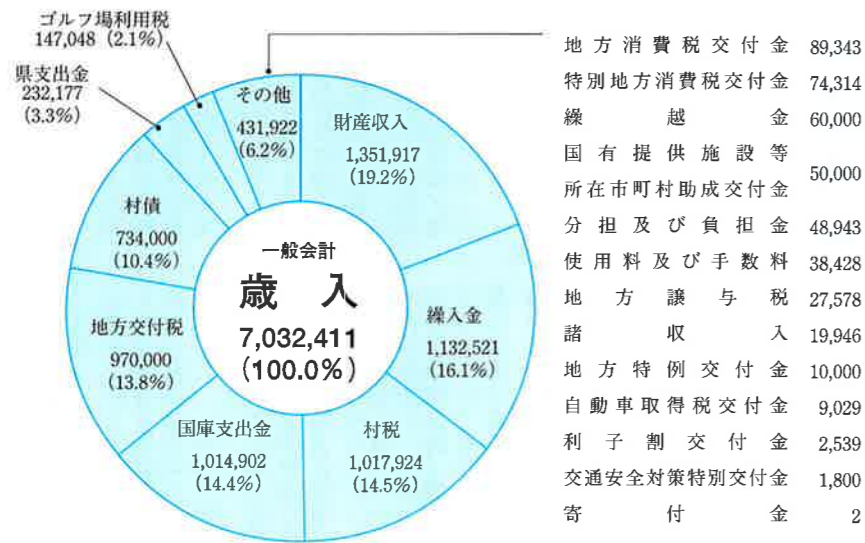
行政を自主的かつ総合的に広く担う主体として、高齢化社会に向けた総合的な地域福祉施策や、生活関連社会資本の整備等の政策課題を推進していく上で、益々大きな役割を果たしていくことが強く期待されております。

平成十一年度は引き続き景気対策と減税が継続される予定であり、普通交付税も減額が見込まれるなど財政を取り巻く環境は、益々厳しくなることが予想

されるとともに、景気対策や庁舎建設、博物館建設等の村債発行に伴い、その償還が将来の負担になることが懸念されます。このような厳しい財政状況が予想される中、予算編成は、「恩納村第三次総合計画」の後期基本計画に添って、事業の優先順位の選択を行い、諸経費の節減合理化に努め、今後の厳しい財政運営に対処し、諸事業を推進できるよう鋭意努力して参ります。

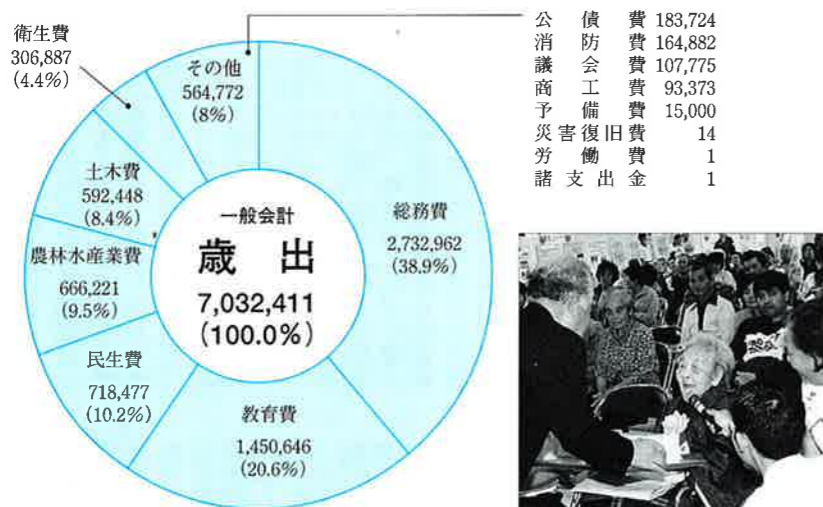
平成11年度一般会計予算 70億3,241万円

歳入内訳 単位：千円 (%)



地方消費税交付金	89,343
特別地方消費税交付金	74,314
繰越金	60,000
国有提供施設等	50,000
所在市町村助成交付金	48,943
分担及び負担金	48,943
使用料及び手数料	38,428
地方譲与税	27,578
諸収入	19,946
地方特例交付金	10,000
自動車取得税交付金	9,029
利子割交付金	2,539
交通安全対策特別交付金	1,800
寄付金	2

歳出内訳 単位：千円 (%)

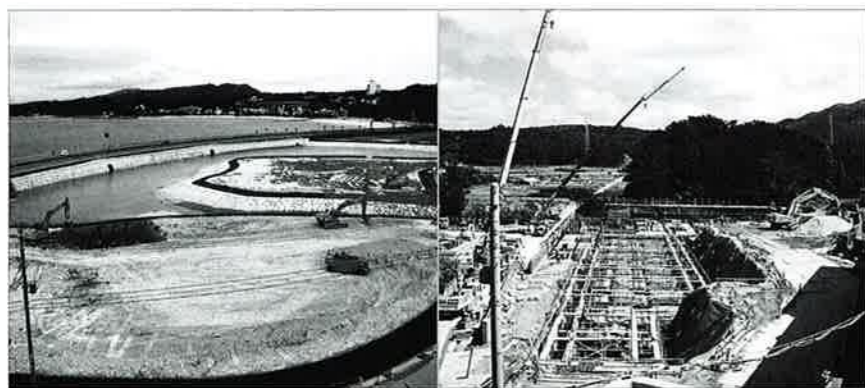


公債	183,724
消費	164,882
議	107,775
商	93,373
予	15,000
災	14
害	1
復	1
旧	1
働	1
務	1
支	1
出	1



平成11年度特別会計予算 (単位：千円)

会計名	予算額	前年度対費
国民健康保険特別会計	822,374	67,426
老人保健特別会計	714,007	△ 30,721
上水道事業特別会計	500,578	△ 185,278



三. 新庁舎建設事業について

新庁舎建設事業については、建築工事を主体に四工種に分離発注を行い、平成十年第六回恩納村議会定例会において契約案件の可決を得ました。

その後、工事の着手に当たり、村民、各工事関係者の方々により安全祈願祭を挙行し、万全な対策により工事を遂行している所であります。

本年度事業は、新庁舎建設事業を前年同様継続し、建設工事を実施します。

四. 仲泊内海整備計画について

恩納村南部の地域活性化の拠点づくりとして、仲泊内海を本年度も継続整備します。国においては「歴史国道」整備事業として引き続き交差点改良及び水道整備等の実施予定であります。

五. 基地の跡地利用について

平成七年十一月三十日付けで返還された恩納通信所は、昨年十一月三十日をもって三年の給付金期間が経過し、それ以降は地料に代わる補償は無く、地主は収入減による経済的な影響を受けることとなります。

村では、跡地利用計画検討委員会からの答申を受けて、地主の意向や村の将来を見据えて、ゴルフ場、住宅、健康増進関連施設の三つを計画案として、地主に対し説明会を開催し、多く

なお、庁舎内の窓口業務に關しては新しく備品を設置し、その他、各関係課については現在利用している備品を最大限利用活用致します。

さらに、議会棟の議場家具などについても、新たに備品を設置し、議会運営に支障のないよう整備します。

又、外構工事については、現庁舎を撤去し、村民の憩いの広場及び緑地公園、構内道路整備工事を行い、高齢者や障害者に優しい新庁舎を建設致します。

又、村においては平成十年年度に埋立工事を完了致します。本年度は村立博物館の建設及び農林水産物、村の特産品展示販売施設や道の駅構想等の実施に向け、関係機関と協議を進めてまいります。

また、米軍基地所在の市町村の抱える困難を、住民の立場から緩和するために設けられた沖縄米軍基地所在市町村に関する懇談会（島田懇談会）の提言に沿った村おこしのためのプロジェクト「チーム未来」（平成十年七月設置）の事業実施に向けて、本年度は具体的に取り組みます。

の賛同を得ましたので、地主及び企業と連携し強力を推進します。また、米軍基地所在の市町村の抱える困難を、住民の立場から緩和するために設けられた沖縄米軍基地所在市町村に関する懇談会（島田懇談会）の提言に沿った村おこしのためのプロジェクト「チーム未来」（平成十年七月設置）の事業実施に向けて、本年度は具体的に取り組みます。

六. 教育・文化の振興について

本村の子供達が変化の激しい社会を生き抜く力を育むため、個性尊重を基本とし、国及び郷土の自然と文化に誇りを持ち、創造性、積極性、国際性に富む人材の育成と生涯学習の振興を期して、次のことを目標に教育施策を推進してまいります。

一点目に「自ら学ぶ意欲を育て、知、徳、体の向上を目指す」とともに、発表力とねばり強さを持つ児童生徒の育成を図ります。

二点目に「平和で活力ある社会の形成者として、豊かな人間性と、たくましく生きるための

七. 経済の振興について

① 農業振興について
今、我が国はかつてない変革期を経験しております。低成長に加え、急激な勢いで進む高齢化の中、地球規模の「大競争」時代をどう生き抜くのか、真剣に考えなければいけない時期だと考えております。

農産物の価格低迷や輸入農産物の増大、長引く景気低迷による需要の停滞等ますます厳しくなっております。特に多くの農産物が右肩下りの中で、本村の農業も創意工夫を凝らした力強い農業構造と、活力ある農村地域を形成するために次の事業を推進してまいります。

健康や体力を培い、郷土文化の継承発展に寄与する村民の育成を図ります。

三点目に「家庭、学校、地域社会、行政の連携のもとに、社会の変化に対応し得る教育方法を追求し生涯学習社会への移行を図ります。」

その主な新規の施策は次のとおりであります。

① 総合学習に向けて小中学校学習環境整備計画の推進
「生きる力」の育成と「豊かな心の教育」を推進する。

② 学校図書備品の充実
二〇〇二年から学校は、週五

③ 経営感覚に優れた農家を育成するため、自らの経営を客観的に捉えるため簿記記帳を推進し、品質を落とさずに低コスト生産、規模拡大、効率的施設整備、作業の合理化、品質管理を考え、農家の経営改善に努めます。

④ 園芸作物、熱帯果樹等を中心とした施設型農業の積極的導入と高度な栽培技術に基づく高品質、高収益農業の実現と特産地の形成に努めます。

⑤ サトウキビを中心とする土地利用型農業の生産性向

日制が完全実施されます。よって、子ども達が、土、日、図書館を利用する場としての環境整備が急務であります。又、地域における生涯学習を推進する上で重要であり、多様な資料、情報を提供サービスする場として、学校図書館を解放するため図書の実施を図ります。

③ 人材バンクの名簿作成
④ 国際交流事業（南米弟子の受入等）のための事前調査を実施します。

上のために安富祖地区にハーパースターの導入を推進致します。

④ 農業振興を図るためには、農産物（熱帯果樹、野菜）の消費拡大。品質を重視した生産と市場流通の開拓が必要であり、市場の理解と協力をいただきながら、消費者の立場から一歩踏み込んで市場調査を実施し、有利販売体制の定着を促進しながら、市場情報を農家へ提供することにより農家の意識向上を図ります。

めの花いっぱい運動などのCG事業をはじめ、九年度において策定した観光振興計画中短期行動計画の推進に取り組んでまいります。

② 農業の基盤整備について
農家の所得向上と生産性の高い亜熱帯農業を確立するため、土地改良事業の完了地区において農業用水の確保とかがい排水事業を積極的に推進してまいりましたが、平成十一年度も引き続き団体営都田地区畑地かんがい排水事業や団体営太田地区畑地かんがい排水事業を実施致します。

又、農道につきましては農業の振興を図る地域において、農道網を有機的かつ合理的に整備を図るため、砂利舗装で勾配のきつい箇所や不陸の多い所を農道維持管理等で重点的に整備するとともに、平成十一年度も防衛施設局の調整交付金事業で利用度や緊急性等に配慮しつつ、アスファルト舗装工事を行います。

③ 林業振興について
本村の森林面積は村土の六十一％を占め、そのうち七割は村有地で、私有地は三割となっており、私有地においては村土の保全及び水源涵養保全林となっており有用樹種の造林や天然林の改良、治山事業等を積極的に推進します。

林業構造改善事業においても、県民の森内に地域産物加工販売施設が平成十年度に設置されており、林産物の販売及び地域の農産物等の販売促進に努めてまいります。

又、地域住民の生活環境保全を進めるために防風林造成事業及び保安林改良事業を継続的に実施すると共に、地域の緑化、村土保全に努めます。村苗畑においては造林、緑化木、防風林農地防風林用苗木及び草花の苗を生産供給できるよう引き続き実施してまいります。

④ 水産業振興について
本村の水産業は、恵まれた海域環境と漁業組合を中心とする漁民の皆様の努力によりまして、以前に比べ漁家経営はかなり改善されてまいりました。これまで推進してきた藻類の養殖事業、モズク、ヒトエグサ、海ぶどうは優れた産品を創出し、その技術は高く評価を受けています。しかし、資源管理型漁業については魚や貝、ウニ等が急激に減少し、又、輸入海産物の増加等その環境は厳しい状況にあります。従来のもとの漁業から、つくり育てる漁業への展開等新たな取り組みが必要となつてまいります。

水産業は農業と共に村産業の柱とも言える重要な産業でもあり、その育成・強化は村の重要な責務であります。そのため村ではこれまでも漁業基盤整備や生産性向上のため、各種陸上機能施設を整備してきてまいりました。

平成十一年度においては水産業奨励補助金により、真栄田漁

港に設置してある海ぶどう養殖施設において、水深三〇mの井戸を掘り、水温の低い地下水を取り水する事業を推進してまいります。

平成十年年度から展開している島田懇談会事業も平成十一年度から実施に移りますので地域経済を担う産業の振興として四村観光連携型養殖場の整備を進めてまいります。

⑤ 漁港の整備について
水産物の安定供給の確保を図るために、その基盤である漁港施設の整備と併せて、漁港環境整備事業を実施してまいります。特に前兼久漁港につきましては、村内三漁港の漁獲物のせり及び加工販売が行われ、村の中核漁港として大きな役割を果たしており、第九次漁港整備長期計画（平成十三年度まで）に基づき、平成十一年度も引き続き西防波堤工事及び西防波堤植栽工事の漁港改修事業を実施いたします。

又、真栄田漁港環境整備事業につきましては、漁港内における景観の保持、美化を図り快適にして潤いのある漁港環境を形成するため植栽及びグランド周囲の排水溝の整備を行います。

⑥ 商工観光の振興について
昨年まで長らく不況と円高基調による海外との競争の激化などで厳しい状況にあった沖縄県の観光・リゾート産業も、県を

上げての取り組みが功を奏し、観光入り込み客数四一〇万人と前年比六・五％の伸びを見せております。

県に於いては、平成十一年度の観光客の招致目標を四四〇万人に想定しておりますが、金融不安を根拠とした不況はなお混乱を深め、先の見えない状況の中で、その目標の達成のためには、市町村でもさらなる努力が必要であります。

本村においては、昨年度は観光に活力を与える観点から、各種イベントの開催、旅行情報誌を活用した広告宣伝事業、花いっぱい運動や体験学習の展開など、村民参加型の観光リゾートの形成に向けて、数々の施策を展開してまいりました。

その結果、平成十年年度の観光宿泊者数は一七五万人と対前年比六・一％の伸びを示しております。中でも商工会を中心として実施をした体験学習は、旅行代理店や本土の高校との連携を密に実施したことにより、相応な効果を挙げられております。誘客のメニューとしてさらなる展開が望まれています。

新年度におきましては、本村観光の発展を目指して、誘客イベントの開催、テレビや旅行情報誌等のマスメディアを活用した広告宣伝事業、体験学習事業、ポトセーリング、ビーチサッカー競技の実施、体制強化のた



八. 住みよい生活環境

- (1) 村道の整備について
安全かつ豊かで暮らし良い地域環境の村づくりの実現に向けて、良好な道路交通環境を確保するため、石粉舗装で路面が浸食されている路線などを重点的に整備を図るため、前年度で仲泊ツマサ原(私道)を村道に認定し、本年度は、村道ツマサ原線として用地測量及び用地購入を行い事業推進を図ります。
- (2) 河川整備について
河川を改修することにより、頻発する水害・河川の氾濫による土砂災害や、土地の浸食及び畑の冠水の被害に対処し、村民の生命・財産を守るとともに河川本来の自然環境保全や周辺環境との調和を図りつつ、地域整備と一体となった良好な水辺空間の形成を図ることを目的に、平成六年度より継続事業として工事を実施している垂川改修事業の本年度施工箇所は、歴史の道の一部であり、現況の歴史的遺産の保全・保護に配慮して、河川の両岸を琉球石灰の石積護岸として、本体工事と併行して事業を実施してまいります。
- (3) 公営住宅の整備について
村は、真に住宅に困窮する低所得者や高齢者及び障害者などの居住と居住水準の向上のために、より良好な居住環境を備えた公営住宅を的確に供給する事を目的に、これまで六団地の村営住宅を建設してまいりましたが、これらも村民の多様なニーズに対応するために、村営住宅前兼久団地の用地造成測量設計及び実施設計の委託業務を実施し、事業を推進致します。
- (4) 下水道について
村民の快適な生活を営むため、地域の衛生、生活環境の向上を図り、併せて観光地としての公共用水域の水質保全に寄与するため、集落における尿尿、生活雑排水などの汚水、汚泥を処理する施設を整備する必要があります。近年下水道処理施設の近代化により、集落単位での事業が可能となり、「恩納村生活排水処理基本調査設計(平成九年度)」に基づき本年度も継続し、各行政区毎に説明をし、

九. 村民福祉について

- (5) 村落環境整備事業について
村民が快適な生活を営むため、地域の生活環境の向上を図ることを目的に、各集落の生活道路、排水路などの環境整備事業を実施してまいります。
- (6) 海浜の浄化について
海岸線の海岸海浜地域浄化を目的に、海岸保全施設の防護を始め、海浜地の自然環境を保護・整備・育成する事を目的とする事業として、名嘉真海浜から、宇加地海浜までの八地区で実施してまいります。
- (7) 環境衛生について
環境にやさしい村づくりにこれまで同様、各集落の排水路の消毒及び煙霧消毒、野犬の捕獲、狂犬病予防注射を継続実施してまいります。
- (8) 上水道について
本村の上水道事業は、昭和五十二年の供用開始以来、第一次拡張工事及び上水道施設整備工事などによって、全集落の配水管布設を完了し、また、パブル期における急激な需要の増大に対応するため、谷茶配水池などの設置によって、上水道のインフラ整備は一定程度達成するに至っています。いわゆる、平成六年度をピーク時として、年間総給水量が微増減で推移している現状は、今日の経済不況に依るものであり、また、今後とも想定される低成長などの社会的、経済的動向を踏まえた場合、急激な需要増大は見込めないことから、新たな大規模送配水設備工事などは実施する要因はなく、むしろ今後は効率的な建設投資による減量経営努力と、安全で安定的な給水を公平に図つ

十. 国民年金について

国民年金の目的は、老齢、障害又は死亡によって国民生活の安定が損なわれることを、国民の共同連帯によって防止し、もって健全な国民生活の向上に寄与することを目的としています。

国民の共同連帯とは、家族の連帯であり、地域の連帯であり、村全体の連帯であります。従って、国民年金の保険料の納付は家族全体の責任であることを自覚しなければなりません。

近年、国民年金保険料の改定や景気の悪化等により、国民年金保険料の未納者が増加し、国民年金制度への不安材料となっています。

十一. 健康づくり推進事業について

村民が心身ともに健康で明るく日常生活ができるように、日頃の健康づくりに必要な基本健康診査である胃ガン、子宮ガン、肺ガン、乳ガン、大腸ガン等諸検診の受診率の向上に向け、健康教育や健康相談事業等に積極的に取り組み村民の健康増進に努めてまいります。

また、地域保健法の改正に伴い、母子保健事業の妊産婦健診・乳児健診・一歳六ヶ月健診・三歳児健診・予防接種や一般的な栄養指導等が市町村に移譲され実施しているところであり、

- (1) 老人福祉について
「老人保健福祉計画」に基づき、各サービスを提供してまいりましたが、この間、デイサービス、ショートステイ事業等は目標数値に近づき、今年度はサービス内容の一層の充実強化に努めます。また、ホームヘルパー派遣事業については制度の周知徹底を図り利用者の活用を努め、これらの在宅三本柱の充実を図ります。単独事業として医療助成事業(オムツ代)、在宅寝たきり老人介護手当支給事業、敬老年金支給事務等の充実強化に努めるとともに、「在宅介護支援センター」の活動も村民に周知されるようになり、寝たきり高齢者等のいる家庭に対し専門家による介護相談及び指導を二十四時間体制で行っています。さらに福祉サービス事業と併せて活用を図り、その支援内容を一層充実してまいります。
- (2) 心身障害者福祉について
「恩納村地域総合福祉計画」を策定し、その中で心身に障害を持つ方が普通に生活していけるよう平成十一年度から平成十四年まで数値目標を具体的に提示し、障害を持つ方々が自立と社会参加のための施策を関係機関団体の協力を得て創意工夫した事業が展開できるよう努め、また、医療費助成事業、補装具

給付事業、日常生活給付事業も引き続き充実し努めるとともに、難病患者に対する在宅支援事業も新たに組み込んでまいります。

- (3) 児童福祉について
改正された児童福祉法によって保育所のあり方等児童福祉を取り巻く情勢が大きく変化し、地域における子育て支援の大きな位置づけがなされています。現在の社会状況として少子化傾向にあると言われながらも、本村においては保育所入所希望児童は多く、定員以上に入所させている状況であります。
- (4) 介護保険制度について
平成十二年四月に施行される介護保険制度は、福祉制度のあり方を大きく転換する制度であり、全国一斉に新制度がスタートいたします。これまでの入所措置制度から在宅介護を前提とし、個人の意志による契約制度へと改正されます。

また、認可外保育所への支援も平成十年度から入所児童の健康関連事業への支援を実施しているところであり、より一層中味の充実した支援をしていきたいと考えています。さらに放課後児童健全育成事業として児童クラブへ支援を行い、昼間共働き家庭の児童の健全育成を取り組んでまいります。

また、児童手当、児童扶養手当、特別児童扶養手当、母子・父子家庭等への医療費助成等の事務を引き続き充実させます。特に母子・父子家庭等への医療費助成については啓発活動等

ていくことが課題であります。従って、平成十年度を初年度として開始された、第二次拡張事業においては、新たに展開される住宅地や、事業計画地などへの給水施設整備、また、漏水対策など、老朽管の布設替え、さらには管理システムの導入による迅速な業務体制の向上を図り、長期的経営安定を確保するため、平成十一年度の具体的な主要な事業として、宅地造成地への給水である真栄田地区配水管布設工事、また、近年社会的に深刻な問題となっている劇物混入の危険状況にあつて、水の安全管理を確保するため、谷茶配水池のフェンス設置、水道行政全般の効率的な運用基盤を形成していくために、水道台帳作製に向けた調査研究などの事業を実施する一方、有収率、収納率の向上と、効率的な事業運営による給水原価低減の経営努力を強化し、水道事業の経営安定を図ってまいります。

分野を有機的に連携された福祉施策を推進してまいります。これらは、村民をはじめ、家庭、地域社会、関係団体等に計画の周知や理解を得るよう努めるとともにすべての村民が地域福祉活動への参加と協力の実践を促し、障壁のない福祉社会づくりに向けた施策を展開いたします。

十二 国民健康保険について

国民健康保険制度は、復帰後四半世紀以上にわたり地域医療の確保と住民の健康増進に大きく貢献し、医療保障制度の根幹として極めて重要な役割を果たしてきました。

しかしながら、今日の急速な高齢化に伴い、高齢者を多く抱える国民健康保険においては、老人医療費を中心とする医療費の増高が深刻化し、加えて少子化による若年被保険者の減少や低所得者の増加及び経済情勢の悪化による被保険者の負担能力の低下が国保財源を圧迫し続けています。

このような状況の中、国にお

十三 老人保健について

長い人生を有意義に過ごすには、心身共に健康であることが不可欠であります。高齢者は一般的に加齢と共に心身機能の衰えや、有病率、受療率が高く、また、傷病別みると高血圧、脳卒中、心臓病等と循環器系疾病の占める割合が高いと言われ

十四 おわりに

平成十一年度の村政運営にあたり所信の一端を申し述べてまいりましたが、「青と緑の豊かな活力ある村」づくりに向け、村政発展のため全力を傾注していく所存でございます。

議員・村民各位のご指導とご協力をお願い申し上げます。平成十一年度の施政方針と致します。

平成十一年三月十一日
恩納村村長 大城英喜

恩納村職員給与等についてお知らせします

① 人件費の状況（一般会計予算）

区分	住宅基本台帳(年度末)	歳出額A	実質収支	人件費B	人件費率(A/B)	前年度の人件費率
平成9年度	9,373人	6,184,339千円	147,822千円	1,227,996千円	19.9%	19.3%

(注) 人件費には、特別職(議員・各種委員等)に支給される給与、報酬等を含む。

② 職員給与費の状況（一般会計予算）

区分	職員A	給与			一人当たり給与(B/A)	
		給与	職員手当	期末手当		
平成10年度	142人	536,601千円	74,586千円	266,547千円	877,734千円	6,181千円

(注) 1 職員手当には退職手当を含めない。

③ 職員の平均給料月額、平均給与月額及び平均年齢の状況

(平成10年4月1日現在)

区分	一般行政職			現業職		
	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
平成10年度	324,500	351,700	40.7	299,400	327,400	47.7
平成9年度	317,463	339,827	40.1	275,638	299,583	47.7
平成8年度	309,067	330,329	40.6	275,638	299,958	46.7

④ 職員の初任給の状況

(平成10年4月1日現在)

区分	恩納村		国	
	決定初任給	標準初任給	決定初任給	標準初任給
一般行政職	大学卒 174,200	188,500	174,200	188,500
高校卒	141,700	151,600	141,700	151,600

⑤ 一般行政職の級別職員数の状況

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	計	
	主事補 技師補 保母	主事等 技師	主事等 技師	主任等 技師	係長 主査等	係長 主査等	課長 事務 係長 主査等	課長 事務 係長 主査等		
職員数	4	7	18	12	20	29	6	9	105	
構成比	%	3.8	6.7	17.1	11.4	19.0	27.6	5.7	8.6	100
参考	平成9年構成比%	3	9	15	10	26	24	14	2	103
	平成5年構成比%	4	11	7	38	27	3	11		101

⑥ 職員手当の状況

区分	恩納村	国
期末手当	(平成10年度支給割合) 6月期 2.2月分 12月期 2.5月分 3月期 0.55月分 計 5.25月分	(平成10年度支給割合) 期末手当 0.6月分 6月期 1.6月分 12月期 1.9月分 3月期 0.55月分 計 4.05月分
退職手当	(支給率) 自己都合 勤続20年 21.00月分 勤続25年 33.75月分 勤続35年 47.50月分 その他の加算措置 退職時特別昇給 1~2号	(支給率) 自己都合 勤続20年 21.00月分 勤続25年 33.75月分 勤続35年 47.50月分 その他の加算措置 退職時特別昇給 1号

⑦ 特別職の報酬の状況

区分	給料月額等
給料	村長 767,000円 助役 621,000円 収入役 583,000円 議長 268,000円 副議長 222,000円 委員長 215,000円 議員 207,000円
報酬	村長 (10年度支給割合) 6月期 2.0月分 助役 12月期 2.05月分 収入役 4.95月分 議長 (10年度支給割合) 6月期 2.0月分 副議長 12月期 2.05月分 委員長 計 4.05月分 議員

保健福祉課より村民へお知らせ!!

不法投棄はやめましょう!

みんなの協力で不法投棄をなくそう。



放置廃自動車やゴミが村道、農道、山林と村内のあらゆる場所に放置されています。ちゃんとした処理施設や業者に搬入しましょう。

粗大ゴミ等は、恩納村一般廃棄物最終処分場へ個人搬入になっております。(火曜休み)



場所：恩納村字富着1043-63 ☎965-6486
埋立対象物：焼却残灰・不燃物・粗大ゴミ等
※電化製品等は、買い換えの場合は、購入したお店に引き取らせて下さい。



恩納村一般廃棄物最終処分場案内図

村保健福祉課 衛生係

平成十一年度恩納村の事業計画

新規事業

- 屋外用掲示板設置工事 (各字) 総務課
- 環境整備事業補助金 (各字) 建設課
- 防災無線移設工事 (恩納) 庁舎建設室
- 震度計移設工事 (恩納) 庁舎建設室
- 電算機移設工事及び新設工事 (恩納) 庁舎建設室
- 戦没者追加刻名 (恩納) 庁舎建設室
- 南恩納排水路浚渫工事 (南恩納) 保健福祉課
- 谷茶ボックス補修工事負担金 (谷茶) 建設課
- 前兼久漁港西防波堤植栽工事 (前兼久) 経済観光課
- 植栽 38箇所 (前兼久) 建設課
- 村営住宅前兼久団地敷地造成 (前兼久) 建設課
- 野菜産地総合対策事業補助金 (仲泊) 経済観光課
- 栽培塔工事 7、500㎡ (仲泊)
- 付帯工事 一式
- 仲泊小中学校外壁補修工事 (仲泊) 学校教育課
- 仲泊小中学校外壁補修工事 (仲泊) 学校教育課
- 博物館建設工事 (仲泊) 社会教育課
- 博物館展示工事 (仲泊) 社会教育課
- 空調照明集中制御監視装置 (仲泊) 社会教育課
- 防犯監視装置 (仲泊) 社会教育課
- 仲泊遺跡内東屋補修工事 (仲泊) 社会教育課
- 山田小中学校安全柵設置工事 (山田) 学校教育課
- 塩屋農道舗装工事 (塩屋) 経済観光課
- 土工 785㎡
- 舗装工 3、925㎡
- 欽止工 460㎡
- 舗装止工 100㎡

継続事業

- 防犯灯設置工事 (各字) 総務課
- 交通安全施設設置工事 (各字) 総務課
- 団体管かんがい排水都田地区負担金 (瀬良垣) 経済観光課
- 団体管かんがい排水太田地区負担金 (太田) 経済観光課
- 新庁舎防音工事費 (恩納) 庁舎建設室
- 新庁舎建設工事 (恩納) 庁舎建設室
- 新庁舎外構工事 (恩納) 庁舎建設室
- 舗装工 300㎡
- 排水工 320㎡
- 石張工 230㎡
- 前兼久漁港西防波堤工事 (前兼久) 経済観光課
- 西防波堤 177㎡
- 真栄田漁港環境整備工事 (真栄田) 経済観光課
- 植栽工事一式 排水工事一式 その他一式
- 垂川改修工事 (塩屋) 建設課
- 右岸 312㎡ (国債分 182㎡)
- 左岸 329㎡ (国債分 209㎡)
- 村道用地取得費 (名嘉真・恩納) 建設課
- 名嘉真地内村道 15筆 251.85㎡
- 村道勢理田原線 9筆 175.29㎡
- 南恩納近隣公園用地取得 (南恩納) 建設課
- 村営住宅前兼久団地用地取得費 (前兼久) 建設課
- 村道ツマサ1原線用地取得費 (仲泊) 建設課
- 1号道路 2、641㎡
- 2号道路 1、539㎡
- 継続事業 (安富祖) 建設課

公有財産購入

- 村道用地取得費 (名嘉真・恩納) 建設課
- 名嘉真地内村道 15筆 251.85㎡
- 村道勢理田原線 9筆 175.29㎡
- 南恩納近隣公園用地取得 (南恩納) 建設課
- 村営住宅前兼久団地用地取得費 (前兼久) 建設課
- 村道ツマサ1原線用地取得費 (仲泊) 建設課
- 1号道路 2、641㎡
- 2号道路 1、539㎡
- 継続事業 (安富祖) 建設課



▲学習の成果を会場内で展示

生涯学習の成果を会場で発表
第十三回恩納村生涯学習振興大会

平成十年度の社会教育実績を社会教育関係者に報告する第十三回村生涯学習振興大会が二月二十七日、村コミュニティセンターで村内の社会教育関係者が参加して開催されました。開会式で仲嶺哲夫村教育長は、「これを機会に村の生涯学習の気運が高まることを期待します。」と主催者あいさつがあり、その後舞台では、講座で実施した喜瀬武原の三線や宇加地・名嘉真の日舞や琉舞も会場で紹介され、他の講座で実施された、トールペイント等の手芸

作品も会場内に展示され一年間の学習成果を村民に披露しました。

また、石川市社会教育委員の新城紀秀氏による「ウチナンチュの肝心」と題した講演は、むかしの琉球の生活やエピソードを紹介し時折会場からは笑い声が聞こえる終始なごやかな雰囲気での講演が進められました。会場の一角では恩納村に静養のため滞在している水墨画家の栗原克美氏の書画展も開催されており参加者の目を惹かせていました。

安富祖生活改善グループが全国表彰
二十一世紀むらとくらし全国会議

地域社会で重要な役割を果たしている婦人の意見が反映される活力ある農山漁村の建設に資するため三月四日～五日までの間、東京都内、国立教育会館で開催された「第八回二十一世紀むらとくらし全国会議」のなかで、婦人グループの生活・生産活動に関する表彰が行われ安富祖生活改善実行グループ（会長山君子氏）が優良賞を受賞し、三月八日に村役場を訪問し受賞の報告をしました。

安富祖生活改善実行グループは昭和二十八年に結成されて以

来、現在にいたるまでユイマー精神で「一人は皆の為に、皆は一人の為に」を活動のモットーにし輪を広げ、女性のもつ視点で主体的に地域活動に参画し、これまでに地域特産品づくりや生活を見直す運動等を展開し、四十五年間の活動の積み重ねが認められ、社団法人の農村漁村女性・生活活動支援協会からの表彰受賞となりました。

今回の受賞は県内から北部農業改良普及所から推薦された安富祖生活改善実行グループだけの表彰となりました。



▲優良賞を3月8日村へ報告



▲地域特産品を使った料理実習



▲なごやかな雰囲気で行われた新城氏の講演

中学生がプロ選手から野球指導
仲泊中、山田中が野球教室に参加

プロ野球春季キャンプで村内に宿泊していた中日ドラゴンズの高橋コーチと昨シーズン新人王の河上選手が三月五日、仲泊校グラウンドで同中学と山田中学の野球部員が参加しての野球教室が行われました。

開会式で、野球部員を代表して仲泊中学校の比嘉慶君は、「今日の指導をこれからの試合に生かしていきたい」とあいさつし、指導にあたる高橋コーチと河上選手からは、自分の力で体を鍛えてがんばって下さい。そして今日は一緒に

に楽しみましょう。と参加した野球部員を激励しました。

教室では、はじめにキャッチボールの指導が行なわれ、ひとりびとりの投げ方を見ながらプロの選手から直接受ける指導に少し緊張しながらも少しづつボールの勢を増し、子ども達の表情もたくましくなってきました。

グラウンドには、野球部の他女子中学生や小学生が多く見学に訪れ地元で宿泊しているプロ野球チームの選手と地元の子も達が触れ合う大切な一時となりました。



▲プロの直接指導で次第に勢いが



▲皆で協力して挑戦しました

自然に親しみながら田植えに挑戦！
子ども会勤労体験学習

自然に親しみながら田植えをとおして協力することと友情を深めようと村子ども会育成連絡協議会（会長金城盛建）主催による勤労体験学習が三月十三日の午後、安富祖区内で開催されました。

田植えは、子ども会の毎年恒例の行事になり毎年参加者が増えており十三日の田植えには、幼稚園生から中学生と育成会の合わせて百名程が参加して行われました。

まず参加者は、安富祖公民館前で開会式を終えた後たんばに移動し、指導者から田植えの方法や諸注意を受けいよいよ田植えがスタートしました。

たんばに一歩足を踏み入れるまでは少しためらっていた子ども達も田植えをしているうちに泥まみれになり一生懸命に植え付けを行い、約三十分程で終了しました。

収穫は七月初旬に行われる宿泊研修で実施し、八月のサバイバルキャンプ等で収穫される米を使用する予定になっています。

また、村子ども育成会では、今回の田植えをした苗を子ども達と一緒に収穫までの間、定期的に管理することになっています。



▲7月には収穫できます

当山君九州でも頑張ってきて下さいと寄付

3月25日に開催された九州ジュニアゴルフ選手権に参加した。恩納小学校の当山幸四郎君(瀬良垣)への寄付金贈呈が3月18日村長室で行われました。

今回寄付された寄付金は、3月1日に開催された大城英喜村長の就任激励のコンペで商品を獲得した参加者から集められた寄付で、激励コンペ実行委員長の新門信雄議員から「多くの皆さんの心のこもった寄付です頑張ってきて下さい。」と贈呈され、寄付を受けた当山君からは「皆さんの気持ちに応えられるように頑張ります。」と力強いお礼のことがありました。



平成11年度「カナダ・アメリカ」サマースクール参加者を募集します

恩納村では、中・高校を対象にカナダ・アメリカへのホームステイ派遣事業を行なっています。

■事業内容
ステイ先：アメリカ(ワシントン州、シアトル近郊)
カナダ(バンクーバー近郊)

日程：平成11年7月22日～8月20日 30日間
活動内容：英会話の授業・課外授業(施設の見学)ホストファミリーとの余暇活動他

■募集期間
平成11年4月5日(月)～4月30日(金)

■応募方法
応募を希望する者は、村教育委員会社会教育課に関係書類を添えて申し込むこと。申し込み用紙は教育委員会及び各字公民館に準備してあります。

■問い合わせ先
恩納村教育委員会社会教育課まで!! ☎966—8506

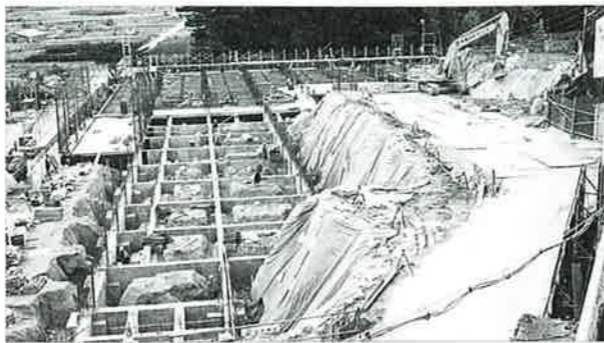
善意ありがとう

村育英基金へ
(南)大協建設(読谷村字高志保1508-1) 200,000円
(南)沖建築設計事務所(沖繩市比屋根1630-2) 100,000円

村社会福祉協議会へ
島袋ハツ様(浦添市安波茶1-3-11) 香典返し 100,000円

新庁舎建設工事の進捗状況について

建設工事の出来高は22%



昨年10月22日には、村民並びに関係者多数の参加をいただき待望の新庁舎建設工事起工式を行い、建設工事はその後順調に進行しております。

3月末の出来高は22%となっております。現在6層ある躯体の2層目のコンクリート打設を準備しているところ。6層目の最上階スラブコンクリート打設及び棟上げ式を今年の9月末に予定しております。

なお、工事に伴い庁舎周辺の交通制限、来庁者用の駐車場の不足等、村民の皆様には大変ご迷惑をかけしておりますが、ご協力を賜り、平成12年2月末の竣工に向け鋭意努力していく所存です。

庁舎建設室

学級生を募集します!!

平成11年度 教育委員会主催
4月開級予定の婦人学級・シルバー学級の学級生を広く村民から募集します。
詳しいことは教育委員会社会教育課まで
☎966-8506(社会教育指導員 平田悦子まで)

こんにちは保健婦です。 今月のテーマは『運動のすすめ』

今日、私たちは車社会への移行や作業の機械化などにより身体活動が低下し運動不足の状態にあります。運動不足が著しくなると体にさまざまな「へい害」を引き起こします。心臓や肺の機能が弱まり、スタミナ、すなわち持久力の低下をきたします。さらに軽い運動でも脈拍が異常に増えたり、血圧調整の異常を起こし弱った心臓に一層負担をかけます。

筋肉や骨に対しても影響が生じ筋肉が萎縮したり骨折しやすくなります。また、体の血管の壁に余分な脂肪が沈着し動脈硬化も起こします。



この他、運動不足はストレスに弱くなり、病気にかかりやすくなったりちょっとした感情の変化で脈拍や血圧が乱れるようになります。運動不足はこのように様々な生活習慣病の原因

よいシューズの条件



正しい歩行フォーム



- 安全にすすめるために次の注意点を守って下さい。
1. 他人とおしゃべりしながらつづられる。
 2. 運動中や終了後に苦しさや痛みを覚えない。
 3. 翌朝も疲労や運動の後遺感が残らない。
 4. 体調不良のときは休む。
 5. 栄養や睡眠時間を充分とる。
 6. 持病のある人はかかりつけ医と相談してはじめる。



春風に誘われてはじめてみませんか。

5月は「赤十字運動月間」 1戸に1人認赤十字の社員にご加入下さい

日本赤十字社では、毎年5月を「赤十字運動月間」として、赤十字の趣旨をご理解いただき、1人でも多くの方に社員となって赤十字を支えて下さるよう、全国一斉に「社員増強運動」を展開しております。

赤十字の社員とは、一般でいう会社の社員ではなく年額500円以上を赤十字社に寄せていただき、赤十字を財政的に支えて頂く人をいいます。

赤十字では、「国際救済活動」と「災害救済活動」を二つの大きな柱として、高齢化社会に対応するための家庭看護法や救急法等の普及、青少年赤十字や赤十字奉仕団の育成、医療に必要な血液の確保のための献血事業、地域医療や医療救済のための沖縄赤十字病院の運営等、県民の皆様の福祉向上のため、日々努めております。

皆様には、赤十字事業の重要性と趣旨をご理解いただき、一人でも多くの方が社員となってご支援下さいますようお願い申し上げます。

平成11年度の恩納村の目標額は1,380,000円となっております。
村民の皆様のご協力をお願い致します。
村保健福祉課 福祉係

栗原克美氏から水墨画「龍の涙」が村へ寄贈

千葉県から避寒養成のため、恩納村に滞在中の水墨画家の栗原克美氏が3月9日大城英喜村長を表敬訪問し、水墨画「龍の涙」を村に寄贈しました。

栗原氏は、自然を愛し人間を愛するのが画家としての誇りであり、滞在中に恩納村の皆様にご世話になっており、村民を代表する村長にお礼の気持ちを込めて寄贈致しますと龍の描かれた水墨画が村に送られました。

寄贈を受けた大城村長は、贈られた絵を来年度完成予定の新庁舎かこれから着工予定の博物館に展示して是非村民に見てもらいと話していました。



▲写真左が栗原氏

安富祖クラブが北部南ブロック少年野球大会で優勝

北部南ブロックの15の少年野球チームが参加して開催された第12回北部南ブロック少年野球大会の決勝が2月28日、赤間運動場で開催された安富祖クラブが見事優勝に輝きました。

決勝戦では、宜野座の松田クラブとの対戦となりましたが安富祖クラブが攻守に勝り、特に投手の荻堂俊介君が松田クラブの打撃陣を抑え、4対0で優勝しました。

3月に県中央大会も開催されますが、安富祖クラブは少年ソフトの九州大会出場の為、県大会は出場を辞退しました。



少年の心を育てるキャンペーン「大人が変われば、子どもも変わる運動」

今何かにつけて「社会が悪い」と責任を転化しがちですが、今ある社会は今の大人達が作ってきた社会であり、子ども達の問題は親や大人社会の問題であり子ども達を変えることのできるの、親や大人であることを自覚し、大人達が自分自身の生き方や社会を見直すことが大切であるとの認識に立って、「おとなが変われば、子どもも変わる」を展開していきます。

すこやかに 伸びよう 伸ばそう 守礼の子 春の青少年育成県民運動実施中

春は、卒業・就職・進学など青少年の新しい門出の時期で、この好機に祝福し将来への目標を見つめさせることが大切です。そこで、これまでの家庭・学校・社会での生活を省み、希望や進路にあった計画を早急に立てさせ適切な援助を行うことにより青少年の健全育成を図られるように県民総ぐるみの運動を展開する。

沖縄県青少年育成県民会議
恩納村青少年健全育成協議会

交通災害共済組合に家族そろって加入しましょう!

沖縄県町村交通災害共済組合(一部事務組合)は、県内の全市町村で設立され、「交通災害共済事業」を実施しております。

この制度は、今日、交通戦争という言葉がつかわれるほど数多くの交通事故がおこっており、このため交通事故による死傷者が激増していることから、扶助協力の精神に基づき、見舞金を送ろうという制度です。

どうかこの趣旨に賛同していただき、ぜひ加入して下さい。

手続きの方法

- ◆加入申込み方法
- ①加入申込は、1人1口に限りです。
 - ②各世帯に配布された加入申込書に、加入者名を連記して、一人当たり、500円の掛金を添えて役場、または区長さんに提出して下さい。
 - ③途中で新たに村民となられた方等は、途中からでも加入できますので、役場に申し込んで下さい。
- ◆問い合わせ先
恩納村総務課 ☎966-8006

大城保昌人権擁護委員ご苦労さまでした

平成4年8月1日から法務大臣の委嘱を受け人権擁護委員として人権思想の普及に努めてきた恩納区の大城保昌委員が3月3日に村コミュニティセンターで開催された人権相談を最後に人権擁護委員を終了しました。大城保昌氏は「人権擁護委員を退いても人権思想の普及に地域で頑張っていきたい。」とあいさつを述べていました。

なお、後任の人権擁護委員には先月号で紹介しました山田区の糸数達郎氏が就任します。

